



東広島市立木谷保育所
令和5年9月
TEL 45-4322

朝夕の心地よい風に秋の気配を感じる季節になりました。子どもたちはプール遊びやお祭り、家族でのお出かけなど、いろいろな夏の思い出とともに一回り大きくなったようで、たくましくなった姿で元気いっぱい遊んでいます。秋の訪れによる自然の変化を感じながら、自然物で遊ぶなど、秋ならではの遊びを子どもたちと楽しんでいきたいと思ひます。



今年はお天気に恵まれ、水遊びやプール遊びを沢山することができた夏でした!

- 4日(月) 身体計測
- 7日(木) 交通安全指導
- 8日(金) 秋の茶会(青組) 青組が参加します
- 10日(日) 敬老会(福寿の会)
- 11日(月) 不審者侵入対策訓練
- 12日(火)・13日(水) 保育参加日
- 15日(金) 絵本の会
- 20日(水) お楽しみ給食
- 25日(月) 避難訓練
- 27日(水) 予行演習
- 28日(木) 園庭開放
- 29日(金) お月見会 午睡終了(黄・青組)



※10/7(土) 生活発表会
※「秋の遠足」を年間行事予定では、9/29に予定して居りましたが、10月下旬に変更させていただきます。日程等が決まり次第お知らせします。

自己肯定感ってなんだろう

自己肯定感には「**自己信頼**」と「**他者信頼**」があります。「**自己信頼**」とは、いつも自分を「これでいいんだ」と肯定できる。そして、自分は自分が好き、自分は大事、自分には何かやれることがある。これまでの経験や積み重ねの中で、充実感や達成感を実感し、こういう思いが膨らんでいくこと。自信を養っていく、自分の価値を感じる力のことです。

対して、「**他者信頼**」とは、自分を支えてくれる人がいる、自分は守られている、自分の存在を認めてくれるひとがいる。特に乳幼児は、人は思いをわかってくれる、自分はひとりじゃない、人と一緒に生活することは楽しいと、まわりの人と一緒に生きることに充実感をもちます。幼いときから、人と人が心の深いところで感情交流を豊かに交わし合う。そんな生活の積み重ねで、人を好きになっていきます。自己肯定感は本来、人に備わっているものではなく、人とのかかわりの中で育てられるものです。自己肯定感を育むことは、人としての土台を育むことです。家庭や保育所でも、自己肯定感が育まれるように関わっていききたいですね。